

3人4脚



H 31. 3/1(金) 第 12 号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

3月に突入…まさしくフィニッシュ態勢に入りました!!

～子ども達が有終の美を飾れるようご協力のほどよろしくお願いいたします。～

早くも、さってしまう月の3月に突入しました。・・・3年生は、今週の27日(水)に公立高校共通選抜の合格発表がありました。結果は、喜ぶ人・悲しむ人、それぞれだったとは思いますが、目標に向かって一生懸命に頑張った経験は、次のステージできっと生きてくると思います。それぞれの進路がほぼ決定しました。

3年生は、卒業式まで今日を入れても学校に来るのはあと7日となりました。一方、1・2年生は、3学期の期末テストが終了しました。今日を入れても学校に来るのはあと16日となりました。まさしくフィニッシュ態勢に入りました。・・・「この学校、この学級で良かった」と子ども達が言ってくれるよう、まずは、私たち教職員が一丸となって頑張ることが重要だと思います。保護者、地域の方々におかれましても、子ども達が有終の美を飾れるようご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



私は、私達の目の前にいる二宮西中学校のすべての子どもたち一人ひとりが、この1年間で成長できたことをまずはしっかりと見つめ、それを価値付けることが何よりも大切なことだと思います。そのことが、子ども達が、卒業後自分が選んだ道を自信をもって突き進めること、また、新たな希望を抱いて進級できることにつながると考えます。

より良い西中をめざして…願いに答えるために…

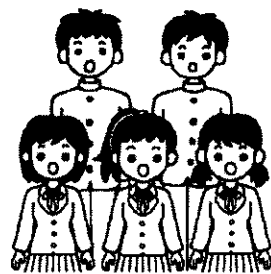
～お忙しい中、ご協力ありがとうございました。・・・「学校教育アンケート」を生かす～

保護者の方にお願ひしました『学校教育アンケート』の「教育活動をとおして、生徒に身につけて欲しい資質は？」という問いに対して、最も多かったのが「思いやり」、2番目が「挨拶・礼儀」、そして3番目が「知識・学力」でした。「健康な体と豊かな心、それに加えてしっかりと知識と学力」・・・理想だと思われるかもしれませんが、子どもを持つつどの保護者もきっと同じように考えているのではないかと改めて感じました。

お忙しい中、『学校教育アンケート』へのご協力ありがとうございました。保護者の方の回答だけではなく、生徒、教職員のすべてのアンケートを集計し、1月中旬の職員会議の際に、全教職員に、「平成30年度 学校教育アンケート集計結果」を渡しました。さらに、教職員のアンケート結果を、学校関係者(学校評議員、コミュニティ・スクール推進協議会員、PTA本部役員、の方々)に見ていただき、様々なご意見をいただきました。

生徒、保護者、学校関係者からは本当に温かい、中には厳しいご意見をいただきました。裏面の結果「2: お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。」より、「生徒一人ひとりの理解に寄り添った授業」を行うことが最重要課題であることが明らかになりました。早速私から教職員に対して、『職員室だより』を通じて、すべてのご意見にしっかりと目を向け、謙虚に受け止める素直さを持ってほしい。さらに、自分自身の教師力向上を目指すことが、生徒の成長につながる、と伝えました。ここで私の心に訴えた保護者からのメッセージを紹介させていただきます。

・学校行事などで生徒同士で意見を出し合って一つのものを作り上げたり、発表したりする経験をすることで、たくさんのことが学べるよい機会だと思いますので、そのような活動を今後も期待します。発表の場を参観することを楽しみにしています。



- ・西中の先生は個人（子ども）の事を良く見てくれて本当に感謝しています。大事な3年間（2年半強）をこの学校で過ごせて良かったと思っています。
- ・先生によって指導の偏りがあるように思える。授業内容がわかりにくかったり苦手な内容についてある程度生徒全体がわかるように指導してほしい。



平成30年度 保護者学校教育アンケート集計結果（回収率：77.3%）

※数値は、4点満点での平均値です。

（あてはまる…4、ややあてはまる…3、あまりあてはまらない…2、あてはまらない…1）

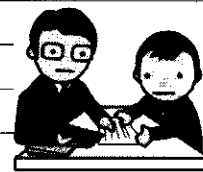
*（個）とある項目は、お子様または保護者自身を中心として、その他は学校全体を対象としての回答です。

I 子ども（生徒）に関して

1 お子さんは、学校が楽しいと言っている。（個）	3.0
2 お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。（個）	2.3
3 二宮西中の生徒は、あいさつがよくできる。	2.6
4 二宮西中の生徒は、集団生活のきまりやマナーを守って生活している。	2.6
5 二宮西中の生徒は、学校行事に生き生きと取り組んでいる。	3.1
6 二宮西中の生徒は、まわりの人への思いやりの心が育っている。	2.6

II 教職員に関して

7 教職員は、子どものことをよく理解している。（個）	2.8
8 教職員は、子どもの学校生活全般について、適切に指導している。（個）	2.7
9 教職員は、家庭との連絡・連携に気を配っている。（個）	2.8
10 教職員は、教育目標の実現に向け組織として努力している。	2.6
11 教職員は、子どもの学習について適切に指導・評価している。	2.8
12 教職員は、言葉づかい・服装・態度等に気を付けている。	3.0

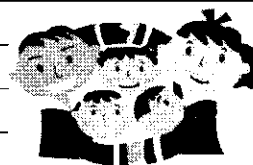


III 学校経営に関して

13 学校は、教育目標・経営方針等を分かりやすく伝えている。	2.7
14 学校は、授業参観や懇談会・面接の機会をよく設けている。	3.0
15 学校は、生徒の健康・安全についての指導・管理に努めている。	2.9
16 学校の施設・設備は、安全かつ衛生に管理されている。	2.9
17 学校の様子は、配布物等で家庭によく伝わっている。	2.8
18 学校では、子どもや家庭に関するプライバシーが守られている。	3.0

IV 教育活動に関して

19 学校は、子どもが十分に活躍できる行事・活動を実施している。	3.0
20 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	2.6
21 学校は、部活動に対して十分な指導を行っている。	2.5
22 学校は、PTAや地域の活動・行事によく協力している。	2.7
23 学校は、保護者の願いに応えた教育活動に努めている。	2.5
24 学校の教育活動について、全体的に満足している。（個）	2.8



～講師の方の話をしっかり聞いて、しっかりと学んでいました。～

2月26日（火）の1校時、3年生は視聴覚室で、神奈川県消費安全課の消費生活コンサルタントである生沼妙子さんを講師として招聘し「中学校を卒業して遭遇するトラブルと対処法」という演題で講演会を行いました。一方、1・2年生は同日の1校時、神奈川県被害者支援センターの犯罪被害相談員である八柳重夫さん、佐々木みどりさんを講師とした「いのちの大切さを学ぶ教室」が行われました。…生徒たちは、講師の方の話をしっかり聞いて、しっかりと学んでいました。私自身とても勉強になりました。お子さんから講演会の内容をぜひ聞いてみてください。

